

第3回 横手市議会

# 議会報告会



# 次第

I. 開会のあいさつ

II. 議会報告

①各常任委員会からの報告(20分)

②報告に対する質疑(30分)

III. 市民と議員との意見交換(50分)

IV. 閉会



(総務文教常任委員会)

# 学校統合

## これまでの学校統合の経過

開校年月	学校名	対象校
平成21年4月	大森小学校	旧大森・白山・川西小
平成22年4月	十文字中学校	旧十文字・十文字西中
平成24年4月	横手明峰中学校	雄物川・大森・大雄中
平成25年4月	横手北中学校	鳳・横手西・金沢中
平成27年度予定	雄物川小学校	雄物川北・南・福地小
平成27年度予定	大雄小学校	田根森・阿気小
平成28年度予定	横手北小学校	境町・黒川・金沢小 ※横手南・朝倉・旭小の一部を編入

# 学校統合

- 雄物川小学校【27年度開校予定】

工事中(6月末進捗率 23.8%)

- 大雄小学校 【27年度開校予定】

工事中(6月末進捗率 20.9%)

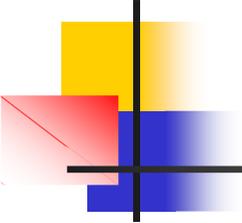
- 横手北小学校【28年度開校予定】

基本設計と実施設計が完了。

7月に関係小学校のPTAを対象とした説明会を開催



建設が進む雄物川小学校



# 学校統合

---

## 26年度 学校統合関係の予算

- ◆小学校統合事業（25億9,473万8千円）  
雄物川小・大雄小・横手北小の建設事業費
- ◆スクールバス購入事業（5,270万円）  
雄物川小・大雄小のスクールバス5台の購入経費
- ◆学校統合推進事業（963万3千円）  
26年度で閉校となる5校の閉校式典経費など

# 学校統合



## 委員会審査から

Q：スクールバスを民間委託する考えは？

A：バス事業者と一部区域の委託を相談した。天候の急変時などに緊急的な対応が困難との理由から協議は保留中。

Q：スクールバスの利用基準を緩和する考えは？

A：小学生4km以上、中学生6km以上が基本だが、地域の事情等を考慮して柔軟に対応している。



⇒ 国道の危険箇所を横断するケースもある。  
子どもたちの安全確保のために柔軟な対応を望む。

# 学校給食



## 現状

- 今年4月に横手学校給食センターがオープン。  
(統廃合により7センターから4センターに)
- 給食費(1食)：小学校260円 中学校290円
- 地場産食材の使用率(主要野菜15品目)  
秋田県産37% 横手市産29% ※25年度
- 地元農家の納品 ⇒ 市の登録制

# 学校給食

## 委員会審査の主な論点

- 現行の給食費を維持することで、食材の質が落ちるようではうまくない。値上げを伴っても、子どもたちには安全で安心な給食を提供すべきだ。
- 食育の観点だけでなく、地元農家を応援する姿勢も見せなければいけない。
- 食材の調達にあたっては、競争原理を働かせ、しかも地元を活かす形でやってほしい。



# クリーンプラザよこて 工事進捗状況

(厚生常任委員会)



## ■ 外構工事

用地造成工事 (H25.12 完了)  
防災調整池 (H26.7 完了)

## ■ 基礎工事

熱回収施設で施工中 (H26.4~)



建設中の熱回収施設

## ■ 機械設備工事

炉本体設置 (H26.8~)、発電機据え付け (H26.10~)

平成27年10月~ 試運転開始

(リサイクルセンターはH28.1~)

平成28年 4月~ 本格稼働開始

(厚生常任委員会)

# ごみの新分別収集

平成28年4月、クリーンプラザの本格稼働にともない、横手市全域でごみの出し方を統一

## ○変更点

- ・分別区分の名称  
(可燃ごみ→燃やすごみ など)
- ・資源ごみの出し方  
(集積所に設置されたコンテナで種類別に仕分け)
- ・分別区分  
(リサイクル可能な資源物はできるだけ分別。  
ガラスせともの、乾電池、小型家電 など)



試行中の新分別収集

# ごみの新分別収集



## ■ 委員会審査の状況

- ▶ これまでの集積所を統合して、大型の集積庫を整備するとなれば、ごみ出しが遠くなる高齢者世帯などで大変ではないか。

⇒ 大型の集積庫設置については、設置スペース等の問題もあり、各町内会ごとに既存の集積所を統合・更新するか判断していただく。

# 特別養護老人ホームの待機者対策

## ■ 委員会審査の状況

- ▶ 介護保険施設の整備により待機者の減少につながるものことだが、具体的にはどうなっているか？

～待機者数の推移～

平成25年4月1日現在	337人 (うち要介護3以上は258人)
平成26年4月1日現在	341人 (うち要介護3以上は277人)



➡ 待機者数は横ばいだが・・・

(厚生常任委員会)

## 特別養護老人ホームの待機者対策

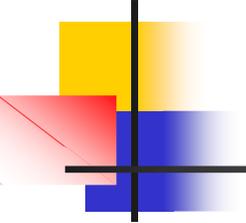
待機者数の適正管理のため、  
第5期介護保険事業計画（24～26年度）で施設整備

特別養護老人ホーム 89床、新設と既存施設の増床



待機状態の適正管理へ前進





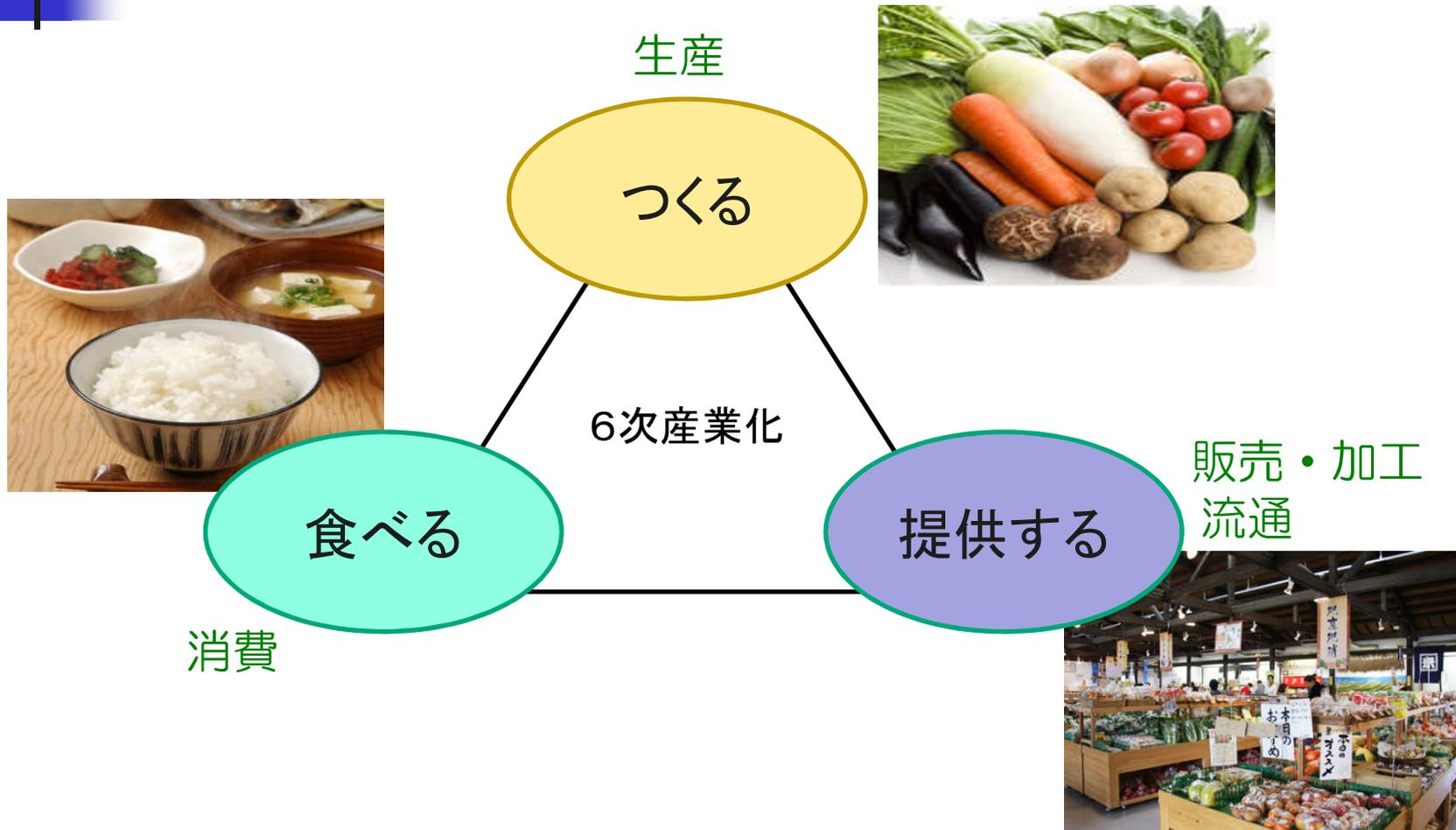
# 介護保険料

---

- その他 委員会審査の状況
    - ▶ 施設整備により待機者対策は前進するようだが、それによって保険料に影響が出てくるのではないか？
- ⇒ 第6期介護保険事業計画（H27年度～H29年度）の事業量にもよるが、当面は基金の取り崩しで値上げを大分抑えることができると思われる。

(産業建設常任委員会)

# 横手市が目指す農業 (施政方針より)



# 「つくる」を支援

- 今冬の大雪による農業被害総額  
約12億3千万円



- 主な支援策
  - 果樹の薬剤購入費用の一部助成を継続（6千万円）
  - 農業災害復旧事業基金1億円を創設
  - 雪に負けない果樹産地づくりを目指し、木柱の購入費用を一部助成（950万円）

# 「つくる」を支援

## 委員会審査の主な論点

- ▶ 大雪が常態化している。被害が起きてからの手当ても必要だが、防止策も重要である。
- ▶ 国の農業政策が転換していく中で、兼業農家も農業を続けていける施策を持つべきである。
- ▶ 高齢化、担い手不足が深刻化する中で、農業だけではなく、地域をどうしていくかを考えなければならない。



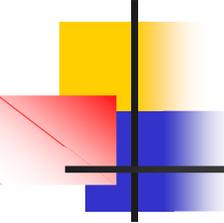
# 除排雪対策

- 平成26年度除雪費予算
  - 前年度より約3億円多い10億円を計上

- 除雪ドーザの更新(4台)
  - 横手、雄物川、十文字、平鹿へ

契約額合計 約6,533万円





# 除排雪対策

---

## 委員会審査の主な論点

- ▶ 小路の除雪に苦慮している。(特に横手地域) 小型の除雪車を配備するなどの対応が必要だ。
- ▶ 排雪が課題である。地域局間で機械を融通し合うなど具体的な対応をとるべき。
- ▶ 高齢化が進む中で、地域の方たちだけで除雪することは困難になってきている。対策が必要だ。

～各常任委員会からの報告に対して～

## 質疑におけるお願い

- できるだけ多くの方が発言できるように、  
簡潔（2分以内）にお願いします。
- 挙手のうえ司会者の指名を受けてから、  
お名前を言ってお話してください。



# 意見交換

ご意見をお聞かせください

- できるだけ多くの方が発言できるよう、簡潔（2分以内）にお願いします。
- 挙手のうえ司会者の指名を受けてから、お名前を言ってお話しくください。





アンケートにご協力ください。



第3回 横手市議会

# 議会報告会



ご来場ありがとうございました